

平成29年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
子どもの保健Ⅱ				演習		宮澤美津子	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	1	2	30	15	後期	必修	
[授業の目的・ねらい]							
<p>子どもの保健に関する知識をどのように実践してしていくのかを実際に体験してみること、調べてみる、自分自身や仲間と考えることを通して実践力をつけていく。</p>							
[授業全体の内容と概要]							
<p>1. 子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。 2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶ。 4. 救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に、学ぶ。 5. 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解する。</p>							
[受講上の注意事項]							
<p>予習として、テキストに目を通して授業に参加すること。</p>							
[使用テキスト]				[評価基準]			
<p>子どもの保健Ⅱ 基本保育シリーズ11 中央法規 監修 公益財団法人 児童育成協会 編集 松田博 雄</p>				<p>出席時間 授業参加度 まとめ試験</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目		授業内容				
1	保育における保健計画と保健活動		子どもの健康安全管理や、活動を円滑にするための年間計画について学ぶ。また保健活動のうち、成長評価の資料となる身体計測の技術を学ぶ。				
2	子どもの保健にかかる個別対応と子ども集団全体の健康と安全・衛生管理		健康観察のポイントや健康診断と合わせて、与薬について学び、これらを正しく行う技術と知識を身につける。				
3	子どもの健康増進と保育の環境		子どもの健康増進のためのよりよい保育の環境について、衛生管理および安全管理の観点から理解を深める。				
4	子どもの生活習慣と心身の健康		乳幼児期に身につけることが重要とされる子どもの生活習慣と心身の健康について学ぶ。				
5	子どもの発達援助と保健活動		衣服の調節、睡眠と休息、食事の世話、排泄の世話、清潔と健康、室温管理、外気浴、戸外遊びについて学ぶ。				
6	体調不良や傷害が発生した場合の対応		子どもの体調不良時に、子どもの様子を観察し的確に対処できるようにするため、観察項目の基本を学ぶ。				
7	感染症の予防と対策		嘔吐した子どもへの対応を通して、標準予防策の実技を身につけることを目的とする。				
8	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応		慢性疾患やアレルギー疾患などをもちながら生活する子どもと家族への支援方法を学ぶ。				
9	乳児への適切な対応		乳児期の子どもの形態的な成長・発達の特徴と機能的発達の特徴、心理社会的発達の特徴を学んだうえで、健やかな毎日を過ごすための基本的な日常生活における援助方法を学ぶ。				
10	障害をもつ子どもへの適切な対応		障害を持つ子どもの特性を理解し、どのようなかわりが子どものもっている力を引き出し、あるいは外への興味を引き出すのか検討する。				

11	事故防止および救急蘇生法の習得	子どもに起こりやすい事故と、その防止のための保育配慮について学び、自己が起きてしまったときの救急蘇生法の習得をめざす。
12	保育における看護と救急処置	けがの状態を落ち着いてよく観察し、適切に処置を行う方法を学ぶ。
13	災害への備えと危機管理	災害への備えおよび危機管理の重要性について学ぶ。
14	子どもの養育環境と心の健康問題	保育施設では、養育と教育を一体的に行い環境を通して総合的な保育を実践している。子どもは周囲の環境から影響を受けるため。子どもの豊かな育ちを守るためには養育環境を整える必要がある。
15	心とからだの健康づくりと地域保健活動	①国の制度 ②地域保健活動の実際 ③保育所と専門機関との連携について学ぶ。